

第6回

# ふるさと川柳コンテスト入賞作品

【応募総数】 2、959点（1、675名）

【応募期間】 令和元年6月3日～令和元年9月5日

## 募集要項

- 1 内容 ふるさとをテーマとしたもの。
- 2 主催 兵庫県北播磨県民局
- 3 後援 兵庫県教育委員会播磨東教育事務所・神戸新聞社
- 4 応募要領 一人2句まで。川柳「五・七・五」の作品で未発表、自作のもの。川柳作品と郵便番号、住所、氏名、電話番号、学校名及び学年を記入のうえ、ハガキ、FAXで応募。
- 5 賞 最優秀賞 1点／1万円分の図書カード・北播磨特産品  
優秀賞 3点／5千円分の図書カード・北播磨特産品  
佳作 20点／千円分の図書カード
- 6 発表 審査会終了後、該当者に通知。兵庫県北播磨県民局のホームページ等で発表。
- 7 著作権 入賞作品の著作権は、兵庫県北播磨県民局に帰属。
- 8 活用方法 「ふるさと北播磨」の普及啓発用カレンダーや啓発グッズに使用。

## 審査員

委員長 大西 泰世（おおにし やすよ）

川柳作家。兵庫県立大学講師。NHKラジオ「土曜ほつとタイム」レギュラー。各地で川柳教室を開くとともに、多可町の日本酒の川柳や姫路市のエコ川柳大賞の審査員としても活躍中。

委員 清水美知子（しみず みちこ） 関西国際大学人間科学部人間心理学科教授

上田尾 真（うえだお まこと） 神戸新聞社北播総局長

## 《審査員講評》

- ▼コンバインで稲を刈り取っているのはお父さん、いや、お爺ちゃんかな？カッコイイ姿を見て、ぼくも大きくなったらコンバインを運転したいと思ったんだよね。(いつかは)の言葉に将来の夢があふれていてステキです。  
(大西審査員)
- ▼コンバインを運転しているのはおじいちゃんでしょうか？カッコいいなあ〜と羨望のままざしで見つめる子ども  
の姿が目につかびます。「いつかはぼくもうんてんしゅ」というフレーズがとても可愛いですね。  
(清水審査員)
- ▼農業機械で最も大きい「コンバイン」としたことで、広がる田畑の大きさが目に浮かんできます。いつかは  
はその作業への憧憬が感じられる一方、「うんてんしゅ」には子供らしさも感じられます。ふるさとへの愛情が現  
れ、情景が現れてくる素晴らしい一句です。  
(上田尾審査員)



コンバイン  
いつかはぼくもうんてんしゅ

小野市 河合小学校 3年 前田 健心

## 《審査員講評》

▼何があっても自分に味方してくれる場所、きっとそれが「ふるさと」なんでしょうね。落ち込んでいる時も、また顔を上げて前に進むことができる。そんな元気を取り戻すようすが上手に表現されていますね。  
(大西審査員)

▼ふるさととは人生の出発点であり、「ここから人生を歩んでいく大切な場所と時間です。当たり前の日常こそがかけがえのない日々である。その思いが「勇気をくれた場所」というフレーズに表れています。  
(清水審査員)

▼何があっても「ふるさと」は私を癒してくれ、そして元気をくれる。そんな「ふるさと」の持つ癒しパワーを再認識させてくれる句です。  
(上田尾審査員)

## ふるさととはわたしに勇気くれた場所

小野市 市場小学校 4年 中井 花保



## 優秀賞

## 《審査員講評》

▼小野のひまわりはとつても有名ですが、そこで暮らしている「おのっこ」はみんなひまわりみたいにも明るくてやさしいんですね。全部をひらがなで書いたことで句がとてもやわらかくなりました。  
(大西審査員)

▼ひまわりは小野市のシンボル。ひまわりの丘公園に咲きそろうた光景は、ほんとうに綺麗です。レモンイエローの花は元気を分けてくれますね。ひまわりの花に囲まれて育つた子どもたちも、明るくて優しいのでしょう。  
(清水審査員)

▼小野市の花「ひまわり」は太陽に向かって咲く花。元気な花の象徴と言えます。その元気さあふれる「おのっこ」は「やさしさ」も併せ持つている。きっとこの子のまわりもそのような元気あふれる友達でいっぱいなのでしょう。  
(上田尾審査員)

## おのっこはひまわりみたいやさしいな

小野市 小野東小学校 3年 天野 花音



## 土よう日はゲートゴルフだ三世代

加西市 北条高等学校 2年 藤原 妃乃花

▼ゲートゴルフって何だか楽しそうですね、それも三世代でやるって本当にスゴイ。だからみんなが集まりやすい土よう日なんですね。いちばん上手なのは誰かしら、なんて、いろんなことを想像させてくれるいい句です。  
(大西審査員)

▼ゲートゴルフは、ゲートボールとゴルフのいいところどりのスポーツです。個人競技で、ルールも簡単。始めたその日から楽しむことができます。老いも若きも世代を超えてゲームに興じる姿が、「三世代」という言葉に表れています。  
(清水審査員)

▼家族三世代が、「ゲートゴルフ」を通じて触れ合う様が表現されています。サッカーボールを使って行う、ゲートゴルフは若者に人気のサッカーとゴルフを組み合わせたもの。三世代の仲の良さが感じられるほのほとした句です。  
(上田尾審査員)



佳作

ふるさとに帰ってくればみな家族

三木市 三木中学校 1年  
横山 百香

ふるさとは秋のおいとたいこの音

三木市 三木小学校 6年  
山田 結愛

浴衣着てちよつと背伸びの夏祭り

三木市 三木小学校 5年  
小田 七海

おじいちゃんいつかのせてねトラクター

三木市 自由が丘東小学校 3年  
北野 希実

田舎やし何も無いけどここが好き

小野市 小野東小学校 6年  
川茂 桐也

じいちゃんのとぐ金物は名刀だ

小野市 小野東小学校 6年  
山本 陽路

ミノムシがかべにひつつきぬすみ聞き

小野市 市場小学校 5年  
片山 唯

小野の朝ひらり青虫ちようになる

小野市 小野東小学校 3年  
前田 芽咲

なつかしい声がきこえるおかえりと

加西市 北条高等学校 2年  
大西 光

帰り道夕日に染まる君見てる

加西市 北条高等学校 2年  
正中 杏奈

佳作

らんさんどれが自分になてるかな

加西市 北条小学校 4年  
宮崎 柊羽

おすそわけ愛も野菜もつまってる

加東市 兵教大附属中学校 3年  
西野 由羅

田舎道いつか自分のふるさとだ

加東市 滝野中学校 3年  
森脇 亜翠

つまずくと帰りたくなる古里へ

加東市 東条中学校 2年  
赤松 瞳

ふるさとはずつと変わらずそれでいい

加東市 滝野中学校 1年  
坂上 遥輝

りゆうみたいととりゆうなだのみずしぶき

加東市 滝野東小学校 1年  
荒木 爽良

里帰り舌がとろける祖母の味

多可町 多可高等学校 3年  
岡田 威風

見渡すと緑だけだがそれがいい

多可町 多可高等学校 3年  
門脇 春音

勉強会よそおい君に肩よせて

多可町 多可高等学校 3年  
本田健太郎

後少し見慣れた町で過ごすのも

多可町 多可高等学校 3年  
宮崎 侑奈